

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成 30 年 6 月 14 日	
和歌山県知事	殿
提出者	
住 所 和歌山県和歌山市六番丁24 ニッセイ和歌山ビル5階	
氏 名 住友林業ホームテック株式会社 和歌山支店	
支店長 坂井 康治	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 073-421-8686	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友林業ホームテック株式会社 和歌山支店
事業場の所在地	和歌山県和歌山市六番丁24 ニッセイ和歌山ビル5階
計画期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 (リフォーム工事)
② 事業の規模	元請完成工事高 756,455千円
③ 従業員数	25名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建築工事) 廃プラスチック→中間処理業者に委託し破碎後、再生業者にて再資源化 木くず→中間処理業者に委託し破碎後、再生業者にて再資源化 紙くず→中間処理業者に委託し、再生業者にて再資源化 金属くず→中間処理業者に委託し、再生業者にて再資源化 繊維くず→中間処理業者に委託し、一部埋立、一部再資源化 ガラス陶磁器くず→中間処理業者に委託し、破碎後、一部埋立・一部再生 がれき類→中間処理業者に委託し破碎後、一部埋立・一部再生 混合廃棄物→中間処理業者に委託し、最終処分業者にて埋立処理 石綿含有廃棄物→最終処理業者に委託し、埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社安全品質管理部 ↓ 支店長 (事業所責任者) ↓ 工事統括課長 (管理責任者) ↓ 工事担当者 (管理担当者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (29年度) 実績】		別紙有り
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック類	2 紙くず
	排 出 量	56.70 t	10.51 t
	(これまでに実施した取組) 分別回収により、埋め立て処分を減量し、再資源化を高める指導		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック類	2 紙くず
	排 出 量	58 t	12 t
	(今後実施する予定の取組) 現状通り		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物はそれぞれ分類し、再資源化を増やし、 最終埋め立て処分量を抑制している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理はしていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 29年度）実績】 別紙有り		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック類	2 紙くず
	全 処 理 委 託 量	56.70 t	10.51 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	25.23 t	8.89 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 全て中間処理業者に委託し、可能な限り再生利用し、最終処理の抑制を計る。 委託先処理業者には定期的に現場確認を行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 廃プラスチック類	2 紙くず
	全 処 理 委 託 量	58 t	12 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	45 t	11 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 委託先処理業者には、定期的に現場確認を続ける。		
※事務処理欄			

(別 紙) ※それぞれの欄で、記入欄の数が少ない等の理由で記入できなかった内容を記入

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

前年度実績、現状 3、木くず=276.38t 4、繊維くず=2.55t
5、金属くず=80.63t 6、ガラス・コンクリート陶磁器くず=81.20t
7、石膏ボード=16.22t 8、がれき類=538.28t
9、建設系混合廃棄物=7.73t

これまでに実施した取り組み

分別回収により埋め立て処理を減量し、再資源化を高める指導

目標、計画 3、木くず=280t 4、繊維くず=3t
5、金属くず=85t 6、ガラス・コンクリート陶磁器くず=85t
7、石膏ボード=20t 8、がれき類=540t
9、建設系混合廃棄物=8t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

前年度実績、現状 3、木くず=276.38t 4、繊維くず=2.55t
5、金属くず=80.63t 6、ガラス・コンクリート陶磁器くず=81.20t
7、石膏ボード=16.22t 8、がれき類=538.28t
9、建設系混合廃棄物=7.73t

再生利用業者への処理委託量

3、木くず=276.38t 4、繊維くず=1.98t
5、金属くず=80.63t 6、ガラス・コンクリート陶磁器くず=7.15t
7、石膏ボード=16.22t 8、がれき類=363.04t
9、建設系混合廃棄物=0t

これまでに実施した取り組み

全て中間処理業者に委託し、可能な限り再生利用し、最終処分の低減を計る。

委託先処理業者には、定期的に現場確認する。

目標、計画 3、木くず=280t 4、繊維くず=3t
5、金属くず=85t 6、ガラス・コンクリート陶磁器くず=85t
7、石膏ボード=20t 8、がれき類=540t
9、建設系混合廃棄物=8t

再生利用業者への処理委託量

3、木くず=280t 4、繊維くず=2t

5、金属くず=85t 6、ガラス・コンクリート陶磁器くず=17t

7、石膏ボード=20t 8、がれき類=380t

9、建設系混合廃棄物=0t

今後実施する予定の取り組み

委託先処理業者には定期的に現場確認を続ける

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。